

令和6年度推進事業

自粛から活動の時へ

まちを元気に！

栗山町長

佐々木

学

■ 5つの基本目標

- 賑わい満ちたまち
- 優しさあふれるまち
- 夢叶えるまち
- 魅力輝くまち
- 共に創るまち

■ 6つの分野別政策

- ① 心豊かに暮らせるふるさとづくり
- ② 人々が元気に輝くふるさとづくり
- ③ 健幸で生きがいを感じるふるさとづくり
- ④ 活力と賑わいあふれるふるさとづくり
- ⑤ 安全・安心で快適なふるさとづくり
- ⑥ みんなの絆で支え合うふるさとづくり

●エフエムくりやまが 7月8日（月）に開局

→ 道内29局目のコミュニティ放送局

→ 7月8日（月）午前8時からついにスタート



開局までの動き

- ・平成29年より 調査・検討スタート
- ・令和3年より 放送局の整備をスタート
- ・令和6年2月 放送局機材の整備完了
- ・ // 3月 予備免許交付
- ・ // 5月 試験電波発射
- ・ // 6月14日 本免許交付
- ・ // 7月8日 エフエムくりやま開局

エフエムくりやま
開局
(放送の開始)



ラジオ放送を通じた
コミュニティの創生



放送ボランティア養成のため
開催した基礎講座の様子

緊急防災情報の
発信

● 災害・防災等の情報発信

→ エフエムくりやまは、くらしの情報のほかに災害時などには防災情報を放送します。

一般放送内での 情報発信

あまり被害が想定されない場合や、被害が拡大しないような場合は、放送中の番組内で放送します。

※震度3までの地震や、各注意報・警報の情報を放送。

緊急割り込み放送 による情報発信

大きな被害が想定される**震度4以上※**の地震や大雨による洪水等、また、**弾道ミサイル（Jアラート）**などの緊急情報が流れる場合は、エフエムくりやまの電波を使用し緊急情報を放送します。

※長周期地震動の大きさ等によって震度3でもJアラートが発令される場合があります。

防災ラジオで
あれば自動で
起動します



● 栗山高校女子野球部

- 少子化の影響を受け、生徒数が減少
- 栗山高校の魅力が向上し入学者数は増加
- 全国大会で勝利するまで成長



● 学生寮別館の建設

- 入部者が増えたことで、学生寮の部屋が不足
- 既存の学生寮の敷地に2人部屋×8部屋（16人分）を建設
- 令和6年度に工事を行い、令和7年4月に供用開始

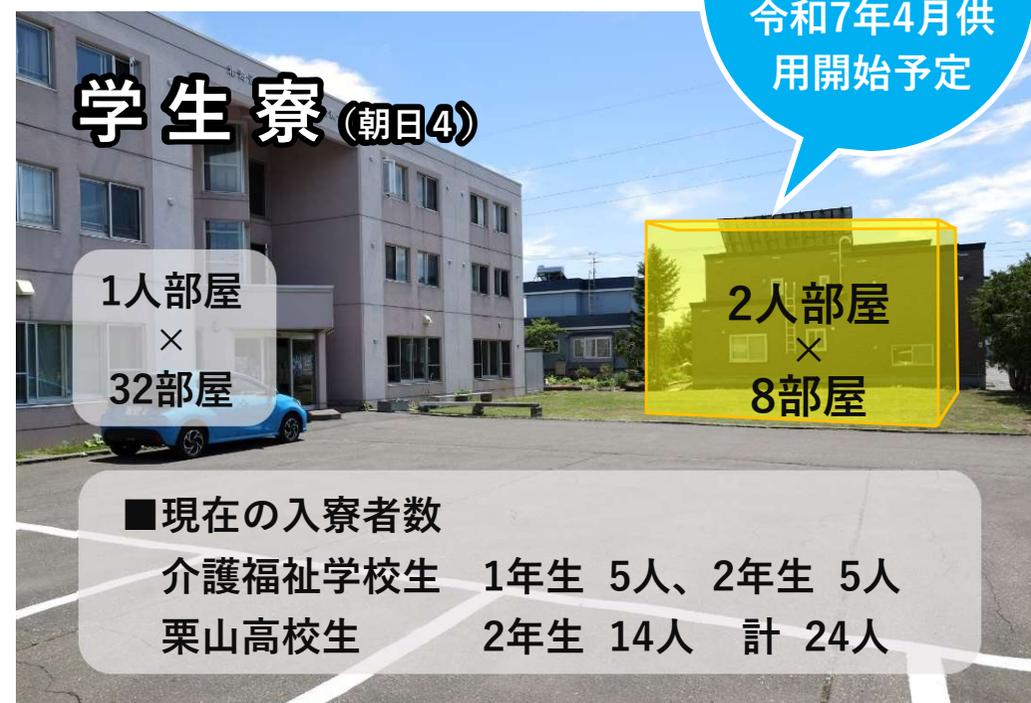
● 部員数

年度	部員数
令和4年度入部	2人
令和5年度入部	15人 (内道外2人)
令和6年度入部	17人 (内道外3人)
現在の部員	32人

この内、1年生の15人が
民間の下宿を利用

同一敷地内に
別館を建設、
令和7年4月供
用開始予定

● 事業費 約1億1千万円



● 積極的な介護予防事業

→ 体力づくりや認知症予防など、さまざまな介護予防事業を展開



近隣市町で
一番低い
介護保険料

介護保険料月額（第一号被保険者） 全国平均6,225円、全道平均5,738円

市町村名	介護保険料		前回との差 (伸び率)
	令和3～5年度	令和6～8年度	
栗山町	5,162円	4,950円	-212円 (-4.1%)
岩見沢市	5,300円	5,300円	0%
三笠市	5,490円	5,613円	123円 (2.2%)
夕張市	7,875円	6,943円	-932円 (-11.8%)
南幌町	5,550円	5,550円	0%
長沼町	6,270円	6,270円	0%
由仁町	5,950円	5,950円	0%
月形町	5,900円	5,900円	0%

● 栗山赤十字病院建て替え工事の状況について



着工前の様子



○整備スケジュール

	令和5年度												令和6年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
事業工程	発注期間						建設工事																	

	令和7年度												令和8年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
事業工程	建設工事			引越		開院																		
	医療機器					解体工事		外構工事			グランドオープン													

令和7年9月の新病院開院に向けて工事はおおむね順調に進んでいます。

令和6年2月29日撮影 ※約4か月前



令和6年6月4日撮影 ※約1か月前



現在の建物から南側を撮影（定点カメラ）

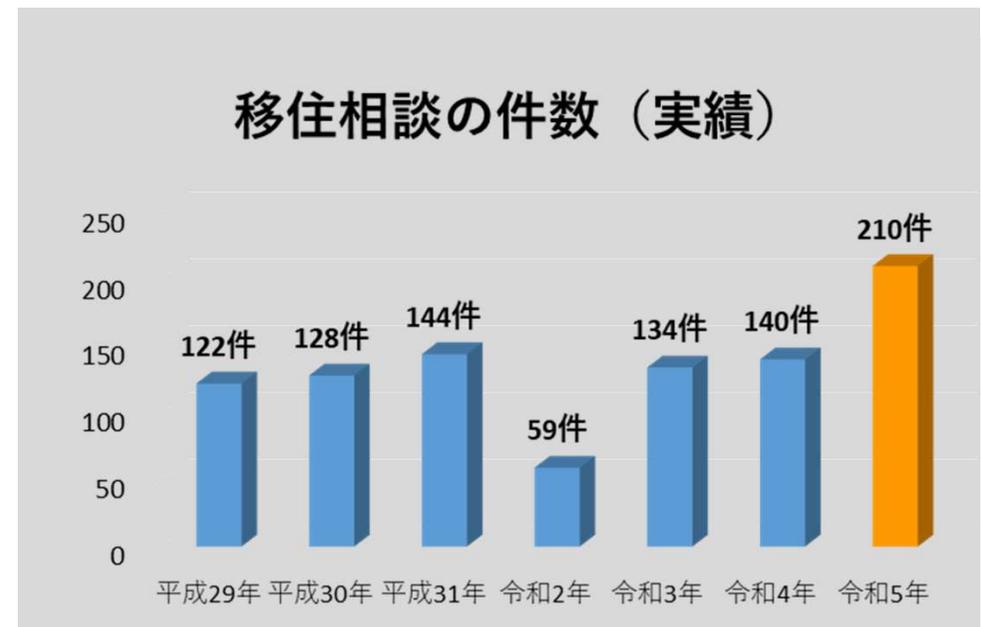
● 移住支援の取り組み

→ 移住支援コーディネーターの配置（令和元年度）

→ UIターン、UIJターンへの支援

【移住支援により町へ移住した実績】

年度	移住世帯数	移住者数
平成29年度	21組	37名
平成30年度	16組	28名
令和元年度	14組	22名
令和2年度	19組	34名
令和3年度	25組	40名
令和4年度	23組	44名
令和5年度	16組	39名



● 交流人口・関係人口の創出

→ 栗山煉瓦倉庫くりふと、交流の拠点としてオープンから1年が経過



ファブラボの様子



キッチンを活用した事業



来館者参加型の企画展示

【全体来館者数】

区分	開館日数	施設主催イベントを含む		施設主催イベントを除く	
		来館者数	平均/日	来館者数	平均/日
2023年4月	26日間	6,033人	232.04人	1,631人	62.73人
2023年5月	26日間	2,129人	81.88人	2,129人	81.88人
2023年6月	26日間	3,862人	148.54人	1,381人	53.12人
2023年7月	26日間	4,401人	169.27人	1,765人	67.88人
2023年8月	27日間	1,871人	69.30人	1,871人	69.30人
2023年9月	26日間	3,038人	116.85人	1,255人	48.27人
2023年10月	26日間	1,973人	75.88人	1,973人	75.88人
2023年11月	26日間	1,571人	60.42人	1,571人	60.42人
2023年12月	26日間	1,226人	47.15人	1,226人	47.15人
2024年1月	22日間	1,034人	47.00人	1,034人	47.00人
2024年2月	25日間	1,722人	68.88人	1,722人	68.88人
2024年3月	27日間	1,964人	72.74人	1,964人	72.74人
合計	309日間	30,824人	99.75人	19,522人	63.18人

※プレオープン期間2023年1月～3月の実績合計
 開館日数：59日間、施設主催イベントを含む来館者数：4,378人、
 施設主催イベントを除く来館者数：3,674人

●地域公共交通の現状と対策

→ バス事業者の経営悪化（人口減少、新型コロナの影響）

→ 深刻な乗務員不足により相次ぐバス路線の廃止・減便

■令和5年9月末：夕鉄バス路線の廃止

○栗山駅前・新さっぽろ駅前線（往路：4便・復路：4便）

○新夕張駅前・新さっぽろ駅前線（往路：3便・復路：3便）

○りすた・新さっぽろ駅前線（往路：5便・復路：5便）



デマンドバスの試行運行

北広島駅までのデマンドバス往路5便、復路5便を試行運行

■令和6年9月末：中央バス路線の廃止（予定）

○札幌・夕張線「高速ゆうばり号」（往路3便・復路3便）

○夕張線（往路1便・復路1便）



町内を循環する くるりん号

対策

町営バス見直し庁内検討委員会において、民間バス減便への対策を検討するほか、本町と同様に影響を受けている近隣市町との共同運行などの協議を進めます。

●令和6年度の主な公共事業

(1) 中里団地の建て替え



平屋 昭和48年～50年 14棟56戸
4階建 昭和51年～55年 5棟88戸

建て替え



2階建 令和6年～12年 12棟96戸

■令和6年度事業費（予算ベース）

事業費 約3億8千万円



(2) 主な道路改良・補修事業等



中央通り舗装補修事業
(令和6年度から4カ年)

令和6年度事業費 約2千2百万円
道路補修工事 延長：216.0m



松風西通り道路改良事業
(令和6年度から2カ年)

令和6年度事業費 約3千3百万円
道路改良工事 延長：100.0m



杵臼本線道路改良事業

(平成30年度から令和6年度)

令和6年度事業費 約9千5百万円
道路改良工事 延長：243.8m



錦1号線歩道新設事業

令和6年度事業費 約1千9百万円
舗装路盤工 延長：160.0m



緑町通り道路改良事業
(令和6年度から3カ年)

令和6年度事業費 約3千5百万円
道路改良工事 延長：120.0m



松風6線側溝改修事業
(令和6年度から2カ年)

令和6年度事業費 約2千百万円
側溝改修工事 延長：105.0m



ふれあい橋補修事業

令和6年度事業費 約9百万円
上屋防止事業一式



湯地・鳩山線側溝整備事業

令和6年度事業費 約480万円
側溝整備工事 延長：125.0m



継立南学田線道路改良事業
(令和6年度から3カ年) ※R6は調査設計

令和6年度事業費 約1千3百万円
道路改良工事 延長：520.0m

●女性活躍・男女共同参画の推進

→ 第1期栗山町女性活躍・男女共同参画推進プランの策定

取組の重点項目

男女が共に働きやすい環境づくり（女性活躍の推進）

- ①育児に関する休業（休暇）制度の普及促進
- ②“共働き・共育て”世帯等の支援（サポート）
- ③仕事と介護の両立支援
- ④男女の均等な雇用・就業環境等の確保

町政における女性活躍・男女共同参画の推進

- ①町行政（役場）における男女共同参画等の促進
- ②まちづくりにおける女性参画の促進



女性関係団体へのインタビューの様子
（テーマ：男女共同の防災について）

「まちという名の家族」



ご清聴ありがとうございました